【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【公開番号】特開2007-210190(P2007-210190A)
【公開日】平成19年8月23日(2007.8.23)
【年通号数】公開・登録公報2007-032
【出願番号】特願2006-32090(P2006-32090)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ　27/36　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　27/36　　ＺＢＰ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月9日(2009.1.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポリ乳酸系樹脂組成物からなる積層シートであって、該積層シートは、結晶核剤を含有する層Ａと、結晶核剤を実質的に含有しない層Ｂとで構成され、かつ、該積層シート全体厚みに対する該層Ａの厚みの割合が５０．１％～９９．９％であり、さらに、該積層シートの構成が、該積層シートの最外層が両側共に層Ｂで構成されている積層構造を有するポリ乳酸系樹脂積層シート。
【請求項２】
前記ポリ乳酸系樹脂積層シート全体厚みに対する該層Ａの厚みの割合が８０．１％～９９．９％である請求項１記載のポリ乳酸系樹脂積層シート。
【請求項３】
前記ポリ乳酸系樹脂積層シートの構成が、層Ａを内層、層Ｂを両外層とした三層構造である請求項１または２記載のポリ乳酸系樹脂積層シート。
【請求項４】
前記ポリ乳酸系樹脂積層シートの少なくとも片面に、離型層を有する請求項１～３のいずれかに記載のポリ乳酸系樹脂積層シート。
【請求項５】
前記ポリ乳酸系樹脂積層シートの少なくとも片面に、帯電防止層を有する請求項１～４のいずれかに記載のポリ乳酸系樹脂積層シート。
【請求項６】
前記ポリ乳酸系樹脂積層シートを構成する該層Ａおよび該層Ｂから選ばれた少なくとも１層が、ポリ乳酸系樹脂組成物全体に対して、ガラス転移温度が６０℃以下のポリエステル系樹脂Ｒを、０．１～４０重量％含有するものである請求項１～５のいずれかに記載のポリ乳酸系樹脂積層シート。
【請求項７】
請求項１～６のいずれかに記載のポリ乳酸系樹脂積層シートで構成されている成形体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００９】
本発明は、上記課題を解決するために、次のような手段を採用するものである。すなわち、本発明のポリ乳酸系樹脂積層シートは、ポリ乳酸系樹脂組成物からなる積層シートであって、該積層シートは、結晶核剤を含有する層Ａと、結晶核剤を実質的に含有しない層Ｂとで構成され、かつ、該積層シート全体厚みに対する該層Ａの厚みの割合が５０．１％～９９．９％であり、さらに、該積層シートの構成が、該積層シートの最外層が両側共に層Ｂで構成されている積層構造を有することを特徴とするものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０３】
（実施例２、３、５～１４、比較例１～４）
各層を構成するポリ乳酸系樹脂Ｐ、結晶核剤Ｑ、ポリエステル系樹脂Ｒ、層構成、厚み比、離型剤コーティング、帯電防止剤コーティングを表１～３のように変えた以外は実施例１と同様に実施した。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０４】

表1

			実施例1	実施例2	実施例3	比較例4	実施例5	実施例6	実施例7
層A	ポリ乳酸系樹脂(P)	種類	P-1	P-1	P-1	P-1	P-1	P-1	P-1
		(重量%)	98	98	98	98	98	98	99
	結晶核剤(Q)	種類	Q-1	Q-1	Q-1	Q-1	Q-1	Q-1	Q-1
		(重量%)	1	1	1	1	1	1	1
	ポリエステル系樹脂(R)	種類	R-1	R-1	R-1	R-1	R-1	R-1	-
		(重量%)	1	1	1	1	1	1	-
層B	ポリ乳酸系樹脂(P)	種類	P-1	P-1	P-1	P-1	P-1	P-1	P-1
		(重量%)	99	99	99	99	99	99	100
	ポリエステル系樹脂(R)	種類	R-1	R-1	R-1	R-1	R-1	R-1	-
		(重量%)	1	1	1	1	1	1	-
層構成			B/A/B	B/A/B	B/A/B	A/B	B/A/B	B/A/B	B/A/B
厚み比（層Aの厚み割合）		(%)	0.5/9/0.5 (90)	1/9.8/1 (98)	2/6/2 (60)	9/1 (90)	1/8/1 (80)	1/8/1 (80)	0.5/9/0.5 (90)
離型剤コーティング			D	D	D	D(B)	-	D	D
帯電防止剤コーティング			ND	ND	ND	ND(A)	ND	-	-
帯電防止性		(Ω/□)	5.2×10^{9}	1.3×10^{10}	8.6×10^{9}	6.2×10^{9}	5.5×10^{9}	4.2×10^{15}	1.2×10^{15}
成型性（離型性）			○	○	○	○	△	○	○
成形体	耐熱性		○	○	△	○	○	○	○
	透明性		○	○	○	△	○	○	○
	光沢性		○	○	○	△	○	○	○